

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市セーフコミュニティ推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

亀岡市セーフコミュニティ推進協議会等、安全・安心を推進するネットワークの横断的な連携協力と併せ、活動を推進する仕組みづくりを進める。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(3回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>対策委員会の設置(6対策委員会)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(3回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>対策委員会の設置(7対策委員会)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	245,000円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(2回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(21回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(4回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(34回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	455,000円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(2回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(1回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(21回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(3回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(1回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(18回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	380,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(2回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(1回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(21回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(2回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(1回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(20回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	227,000円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(2回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(21回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会の運営(3回開催)</li> <li>サベィアンス委員会の運営(2回開催)</li> <li>7対策委員会の運営(21回開催)</li> <li>対策委員会合同研修会の開催(2回開催)</li> <li>セーフコミュニティ推進本部の運営</li> <li>モデル地区の支援を実施</li> </ul>	358,568円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

亀岡市セーフコミュニティ推進協議会、各セーフコミュニティ対策委員会等、安全・安心活動を推進するネットワークの横断的な連携協力を当初目標通り、継続的に推進している。5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進行したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成23年度に新たなセーフコミュニティの形として、亀岡市セーフコミュニティ推進協議会、各セーフコミュニティ対策委員会等、安全・安心活動を推進するネットワークの横断的な連携体制を作り、セーフコミュニティ活動の基礎となる仕組みを構築し、活動を推進してきた。平成24年度にはセーフコミュニティ再認証を取得し、平成27年度には国際セーフスクールの認証（1小学校・9保育所）の認証を取得した。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

セーフコミュニティ再認証においては、仕組みが構築され、機能していることについて評価を得たが、平成30年度の再々認証の取得には、仕組みが継続され、さらに取り組み結果がどう表れているかを示す必要がある。より活発な取り組みが求められる。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成30年度のセーフコミュニティ再々認証及び国際セーフスクール再認証に向けて、より活発に活動を行うため、連携体制の見直しや、対策委員会の役割の再確認、取り組み結果の整理等を推進していく。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	安全・安心プログラム構築事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

<p>亀岡市内の様々な外傷データ等から取り組むべき重点課題を抽出し、解決するため、対策委員会（①乳幼児の安全、②高齢者の安全、③交通安全、④自殺対策、⑤学校の安全、⑥余暇・スポーツの安全、⑦防犯対策）において、外傷予防プログラムを構築します。</p>
---

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	重点課題に対する予防プログラムを構築 (7対策委員会予防プログラム構築)	重点課題に対する予防プログラムを構築 (7対策委員会予防プログラム構築)	567,000円
平成24年度	7つの重点課題に対する予防プログラムを構築、改善。	重点課題に対する予防プログラムを構築、改善 (7対策委員会予防プログラム構築、改善)	483,000円
平成25年度	7つの重点課題に対する予防プログラムを構築、改善。	重点課題に対する予防プログラムを構築、改善 (7対策委員会予防プログラム構築、改善)	1,251,925円
平成26年度	7つの重点課題に対する予防プログラムを構築、改善。	重点課題に対する予防プログラムを構築、改善 (7対策委員会予防プログラム構築、改善)	356,400円
平成27年度	7つの重点課題に対する予防プログラムを構築、改善。	重点課題に対する予防プログラムを構築、改善 (7対策委員会予防プログラム構築、改善)	356,400円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

<p>重点課題に係る対策委員会を設置し、各対策委員会ごとに外傷予防プログラムを構築した。5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進行したため100%の達成率とする。</p>
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

事故や傷害を予防するためには、まず何が課題であるかを明らかにし、その対策を講じ、その対策によって得られた成果を評価することが必要であり、その考え方にに基づき市民と協働で取り組みを進めてきた。その結果、外傷予防に対する意識や行動の変化により、交通事故件数や街頭犯罪認知件数は大幅に減少するなど、外傷数の減少として成果が表れている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今まで設定してきた課題の中で改善に向かうものもある中で、自殺者は大きく減少していない。また、新たな課題として高齢者の交通事故などが出てきている。課題を見直し、新たな取り組みを考えるなど、今後も取り組み内容を検討していく必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

外傷予防は一時的な活動では効果はなく、長期・継続的な活動が重要であり、また分野を越えてあらゆる環境をカバーする活動を展開していく必要があるため、今後も事業の更なる展開・継続をしていく。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	モデル地区活動推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

安全・安心を守る地域活動を展開していくため、セーフコミュニティモデル地区における活動支援を継続します。
---

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	セーフコミュニティモデル地区における活動支援の継続を行う。 (モデル地区アンケート調査1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル地区（川東5町）等のアンケート調査を実施</li> <li>河原林町を「高齢者交通事故防止モデル地区」に認定</li> </ul>	714,456円
平成24年度	セーフコミュニティモデル地区における活動支援の継続を行う。 (モデル地区アンケート調査1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>馬路町のアンケート調査を支援</li> <li>「高齢者交通事故防止モデル地区」として河原林町の活動を支援</li> </ul>	0円
平成25年度	セーフコミュニティモデル地区における活動支援の継続と他地区への拡充を行う。 (モデル地区アンケート調査1回) (他地区へのモデル地区拡充1カ所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千歳町・宮前町のアンケート調査を実施</li> <li>「高齢者交通事故防止モデル地区」として河原林町の活動を支援</li> </ul>	346,500円
平成26年度	セーフコミュニティモデル地区における活動支援の継続と他地区への拡充を行う。 (モデル地区アンケート調査1回) (他地区へのモデル地区拡充1カ所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千歳町・宮前町のアンケート結果を地域に報告</li> <li>河原林町まちづくり計画作成支援</li> </ul>	0円
平成27年度	セーフコミュニティモデル地区における活動支援の継続と他地区への拡充を行う。 (モデル地区アンケート調査1回) (他地区へのモデル地区拡充1カ所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>篠町・馬路町のアンケート調査を実施</li> <li>篠町で防災マップ「S・MAP」の見直しを実施</li> <li>河原林町まちづくり計画実施支援</li> </ul>	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### (その根拠)

モデル地区である篠町と馬路町でアンケートを実施し、まちづくり活動に反映した。またモデル地区である河原林町では、安全安心なまちづくりを計画的に進める「まちづくりプラン」の実施や、篠町では防災マップ「S・MAP」の見直しを実施した。5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進行したため100%の達成率とする。
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

安全・安心を推進する地域活動を支援するため、モデル地区の取組を支援してきた。モデル地区では、自治会を中心にアンケート等を活用し、地域の課題を検討した中で取組みを進めるなど、セーフコミュニティの手法を活用したまちづくりを進めることができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

セーフコミュニティの理念をさらに地域に浸透させるため、モデル地区のさらなる展開を図っていくことを検討していたが、自治会毎に安全・安心の取組みが浸透しており、前期計画の中で進めてきた地区展開のあり方の見直しを図る必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

モデル地区の拡大だけではなく、対策委員会の取組みやセーフスクールの取組等も推進する中で、今後の展開を検討していく。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	6
②事業名	サーベイランス調査事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

亀岡市内で発生する外傷関連データを定期的に把握し減少につなげるため、サーベイランス調査・分析を実施します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H23 1,000件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と調査・分析 （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H23 1,020件 ・セーフコミュニティアンケート調査を実施 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査 ・スポーツ少年団外傷サーベイランス調査実施	1,648,956円
平成24年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H24 950件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と調査・分析 （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H24 976件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	798,000円
平成25年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H25 920件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H25 1,009件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	699,300円
平成26年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H26 890件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H26 989件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	594,000円
平成27年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H27 860件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H27 986件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	486,000円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市の外傷サーベイランスを構成する中心的数据として「行政の統計データ」「救急搬送データ」「医療機関データ」等を経年的に把握・分析する仕組みを構築し、運営している。重要なデータの収集及び分析を毎年度継続して行い、5年目の事業が概ね目標通り進行したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握・分析や、具体的指標の設定及び指標に係るプログラムを検討、提案するという、セーフコミュニティ活動の基本となる取組を推進してきた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市の外傷サーベイランスを構成する中心的なデータである「行政の統計データ」「救急搬送データ」「医療機関データ」については定期的に把握できているが、市民の体感治安や現状抱えている課題などを把握するアンケート調査は平成19年以降実施できていない。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もサーベイランスに必要なデータ取得・分析を継続するとともに、医師などの専門家を中心に構成する「亀岡市サーベイランス委員会」において、「亀岡市セーフコミュニティアンケート調査」を行い、市民の体感治安やセーフコミュニティ活動への認知度等を把握する。その結果を亀岡市セーフコミュニティ推進協議会や対策委員会にフィードバックし、さらなるセーフコミュニティ活動の推進を目指す。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	予防プログラム効果測定事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

予防プログラムの改善とその実施につなげていくため、亀岡市の重点課題のプログラムについて効果を測定し評価します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果を測定し評価する組織を設置・運営する。（サーベイランス委員会2回開催）</li> <li>現行の予防プログラムについて効果を測定し評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会設置・運営（サーベイランス委員会2回開催）</li> <li>予防プログラムの効果を測定し評価を実施</li> </ul>	45,000円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防プログラムの効果を測定し評価することで、改善につなげていく。</li> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会開催（サーベイランス委員会2回開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会運営（サーベイランス委員会2回開催）</li> <li>予防プログラムの効果を測定し評価を実施</li> </ul>	35,000円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防プログラムの効果を測定し評価することで、改善につなげていく。</li> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会開催（サーベイランス委員会2回開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会運営（サーベイランス委員会1回開催）</li> <li>予防プログラムの効果を測定し評価を実施</li> </ul>	25,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防プログラムの効果を測定し評価することで、改善につなげていく。</li> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会開催（サーベイランス委員会2回開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会運営（サーベイランス委員会1回開催）</li> <li>予防プログラムの効果を測定し評価を実施</li> </ul>	15,000円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防プログラムの効果を測定し評価することで、改善につなげていく。</li> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会開催（サーベイランス委員会2回開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会運営（サーベイランス委員会2回開催）</li> <li>予防プログラムの効果を測定し評価を実施</li> </ul>	30,000円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

セーフコミュニティ外傷予防プログラムの効果の検証及び改善・提案を実施する組織として、亀岡市セーフコミュニティサーベイランス委員会を設置・運営している。

5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進行したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

医師や学識経験者等を中心に「亀岡市サーベイランス委員会」を設置し、外傷データの収集と分析、課題の抽出や活動評価の検証を行ってきた。  
セーフコミュニティ活動の進捗状況や効果を検証する根幹の事業として重要な役割を果たしている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

サーベイランス委員会のデータ収集や分析等の結果を活かすため、対策委員会とのより緊密な連携体制の構築が必要である。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

より効果的な外傷予防プログラムの効果検証及び改善・提案を実施するため、サーベイランス委員会の役割や会議内容等の見直し、対策委員会との連携を検討していく。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	セーフコミュニティ広報活動事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

市内を始め国内外に亀岡市のセーフコミュニティ理念を普及するため、セーフコミュニティ活動を定期的に広報紙やホームページに掲載するとともに、視察対応等、本市全体や地域の取組状況の紹介を推進します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ活動の理念を市内を始め国内外に普及させる。</li> <li>普及周知活動延べ人数（2,000人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ視察対応延23団体151人21日2,070分</li> <li>セーフコミュニティ普及周知活動延2,771人</li> <li>ホームページの随時掲載・更新を実施</li> </ul>	206,540円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ活動の理念を市内を始め国内外に普及させる。</li> <li>普及周知活動延べ人数（2,000人）</li> <li>ホームページアクセス件数（年10,000件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ視察対応延17団体147人1,530分</li> <li>セーフコミュニティ普及周知活動延4,250人</li> <li>啓発用DVD・パンフレット作成</li> <li>ホームページアクセス件数年11,432件</li> </ul>	438,725円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ活動の理念を市内を始め国内外に普及させる。</li> <li>普及周知活動延べ人数（2,000人）</li> <li>ホームページアクセス件数（年11,000件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ視察対応延13団体138人1,200分</li> <li>セーフコミュニティ普及周知活動延2,421人</li> <li>啓発用DVD・パンフレット作成</li> <li>ホームページアクセス件数年8,740件</li> </ul>	685,940円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ活動の理念を市内を始め国内外に普及させる。</li> <li>普及周知活動延べ人数（2,000人）</li> <li>ホームページアクセス件数（年12,000件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ視察対応延8団体67人810分</li> <li>セーフコミュニティ普及周知活動延2,884人</li> <li>啓発用ニュース発行 年4回</li> <li>ホームページアクセス件数年6,350件</li> </ul>	171,100円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ活動の理念を市内を始め国内外に普及させる。</li> <li>普及周知活動延べ人数（2,000人）</li> <li>ホームページアクセス件数（年13,000件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ視察対応延12団体153人1,130分</li> <li>セーフコミュニティ普及周知活動延1,947人</li> <li>啓発用ニュース発行 年4回</li> <li>ホームページアクセス件数年2,755件</li> </ul>	499,440円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

- ①セーフコミュニティ活動の理念普及のため、他市町村の視察対応は延12団体、153人、1,130分実施した。  
 ②セーフコミュニティ普及啓発活動は延べ1,974人に実施した。  
 ③ホームページアクセス件数は、2,755件だった。  
 ホームページアクセス数は減少したが、「セーフコミュニティかめおかニュース」を発行し、亀岡市内全域のコンビニエンスストア等に配架するなど、広報活動を強化したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

セーフコミュニティの理念普及のため、亀岡市内だけでなく、他市町村でも啓発活動を実施する中で、これまでに13の自治体がセーフコミュニティの取り組みを開始し、認証を取得している。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

セーフコミュニティの普及啓発を市からの一方向で行うことは限界があるため、市民を巻き込んだ啓発や、対策委員会の活動を通じた啓発など、様々な方向からの啓発活動を検討する必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

これまでの普及啓発方法に加えて、市民を巻き込んだ啓発や各種イベントへの積極的な参加など、多種多様な方法での普及啓発活動を展開する。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	5	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	セーフコミュニティ国際会議推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

国内外にセーフコミュニティネットワークを構築するため、また、亀岡市の理念を普及させるため、セーフコミュニティに関するシンポジウムや国際会議の誘致活動を推進します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	第6回アジア地域セーフコミュニティ会議の実施に向けた準備を行う。	・アジア地域セーフコミュニティ会議の開催に向けた準備会議（豊島区）に出席	0円
平成24年度	第6回アジア地域セーフコミュニティ会議を実施する。	・アジア地域セーフコミュニティ会議」開催（豊島区）	187,120円
平成25年度	市民安全安心フォーラム2014 第10回日本市民安全学会 亀岡大会開催	・市民安全安心フォーラムinかめおか2014（第10回日本市民安全学会亀岡大会）開催（平成26年2月22日）	1,000,000円
平成26年度	セーフコミュニティに関するシンポジウム活動を実施する。	・セーフコミュニティフォーラム～関西セッション～開催（平成27年1月31日）	468,343円
平成27年度	セーフコミュニティに関するシンポジウム活動を支援する。	・市民安心・安全フェスタinあつぎ（第12回日本市民安全学会 厚木大会）開催支援 ・インターナショナルセーフスクール認証式及びシンポジウム開催（平成27年10月3日）	1,642,799円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

平成27年10月3日に「インターナショナル セーフスクール認証式及びシンポジウム」を開催した。また厚木市で開催された「市民安心・安全フェスタinあつぎ」の支援を行うなど、セーフコミュニティの理念普及のために継続的にシンポジウム活動を行っている。  
5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進出したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

国際会議の企画や国内でのシンポジウム開催支援、亀岡市内でのシンポジウムの開催を通して、国内外のセーフコミュニティネットワークを構築することができ、理念を普及することができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

セーフコミュニティネットワークの構築や、亀岡市の理念を普及させるため、今後も継続した取組を行う必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もセーフコミュニティの理念を普及させるため、セーフコミュニティに関するシンポジウム等を開催し、ネットワーク構築を図る。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	6	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	セーフコミュニティ国際ネットワーク構築事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

協働による安全・安心のまちづくりを継続していくため、セーフコミュニティ（SC）の再認証に必要な諸条件を整え、認証センター及びWHO地域安全向上のための協働センター（WHOSCCC）に報告します。また、セーフコミュニティ国際会議に参加し亀岡市のSC活動の報告・周知を図ります。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ再認証にかかる事業を推進する。</li> <li>第20回セーフコミュニティ国際会議参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第20回セーフコミュニティ国際会議出席</li> </ul>	949,999円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ再認証申請書の提出。</li> <li>セーフコミュニティ再認証にかかる事業を推進する。</li> <li>アジア地域セーフコミュニティ会議の開催・参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ再認証申請書の提出（平成24年9月）</li> <li>再認証現地審査・認証式典を実施</li> <li>アジア地域セーフコミュニティ会議の開催・参加</li> </ul>	7,494,540円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ認証・再認証団体へのネットワークを構築・継続する。</li> <li>国際ネットワーク事業参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松原市・久留米市のSC認証式典に出席</li> <li>厚木市清水小学校セーフスクール現地審査視察</li> </ul>	494,980円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ認証・再認証団体へのネットワークを構築・継続する。</li> <li>国際ネットワーク事業参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア国際セーフコミュニティ会議に出席</li> <li>厚木市SC事前審査視察</li> <li>北本市・十和田市のSC認証式典に出席</li> </ul>	314,260円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフコミュニティ認証・再認証団体へのネットワークを構築・継続する。</li> <li>国際ネットワーク事業参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秩父市・厚木市SC現地審査視察</li> <li>厚木市SC再認証式典、鹿児島市・甲賀市のSC認証式典に出席</li> <li>豊島区ISS認証式及びシンポジウム参加</li> </ul>	393,140円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

新たにSC認証を取得した鹿児島市・甲賀市とのネットワークを構築し、亀岡市のセーフコミュニティ活動の報告・周知を図っている。  
5年間で100%の達成率とし、5年目の事業が目標通り進行したため100%の達成率とする。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成23年度にセーフコミュニティの再認証、平成27年度にインターナショナルセーフスクールの認証（1小学校・9保育所）を取得した。  
セーフコミュニティに取り組む15の自治体とネットワークを構築し、常に情報交換を行っており、亀岡市のセーフコミュニティ活動の周知が実施できている。  
また国際会議へ出席し、亀岡市の取り組みを発表するなど、国外にも情報を発信した。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成30年度のセーフコミュニティ及びインターナショナルセーフスクール再認証に向けて、今までの取り組みを振り返り、内容を精査し、成果を数値として表すことができるように整理をしていく必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成30年度のセーフコミュニティ及びインターナショナルセーフスクール再認証に向けて、必要な諸条件を整え、認証センターへの報告準備を進める。  
セーフコミュニティに取り組む自治体との連携をより緊密にし、亀岡市の取り組みの発信だけでなく、より有効な取り組みについても情報交換を行う。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	総合防災訓練の実施									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

市民や関係者の防災に関する知識や技術、防災と減災（災害が起こったときに被害を最小限に抑える）に関する意識を高めるために、市民や関係機関（消防、警察、自衛隊など）、行政（府、市）が一緒になって訓練を行う。また、市民や関係者の防災などに関する知識を高めるため、講師を招いて講演会を行う。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	通信訓練参加者数（関係職員84人）	通信訓練参加者数（510人）	0円
平成24年度	防災講演会参加者数（300人）	防災講演会参加者数（300人）	195,561円
平成25年度	総合防災訓練参加者数（1,500人）	総合防災訓練参加者数（2,500人）	3,193,960円
平成26年度	防災講演会参加者数（300人）	防災講演会参加者数（360人）	181,121円
平成27年度	総合防災訓練参加者数（1,500人）	総合防災訓練参加者数（2,200人）	3,500,000円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに毎年、訓練と講演会を実施するとして計5回実施しているため、達成率100%としました。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

防災訓練については、防災関係機関や市民との協力体制の確立、応急対策活動の充実強化等、市民の防災意識を高める訓練を行うことが出来た。  
また、防災講演会を実施し、市民や関係者の防災などに関する知識を高めることができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

実践に即した市民参加型の訓練の実施等、市民の防災知識の向上に向け、検討が必要である。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後についても防災訓練、防災講演会を隔年実施することにより、市民の防災意識向上に努めます。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	7
②事業名	各種ハザードマップの作成									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

<p>亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって把握し、災害が起こった時の被害を減らすことができるように「亀岡市洪水ハザードマップ」と「亀岡市地震ハザードマップ」を作成する。また、各町の自主防災会などが中心となって作成される「地域版ハザードマップ」の作成費用について助成金を交付して、作成を推進する。</p>
--

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	地域版ハザードマップ作成件数（3件、累計件数：10件）	地域版ハザードマップ作成件数（1件、累計件数：8件）	50,000円
平成24年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：12件）	地域版ハザードマップ作成件数（1件、累計件数：9件）	50,000円
平成25年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：14件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円
平成26年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：16件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円
平成27年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：18件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>平成27年度までの、地域版ハザードマップの作成対象の23町に対して9町が作成済みのため、達成率40%としました。</p>
---

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「亀岡市洪水ハザードマップ」と「亀岡市地震ハザードマップ」を作成することにより亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって広く市民に周知することができた。また、各町の自主防災会などが中心となって作成される「地域版ハザードマップ」の作成費用を助成し、作成を推進することができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年に水防法の改正により、浸水想定区域の見直しがなされるため、ハザードマップの見直しの必要がある。  
また、地域版ハザードマップの作成については、半分以上の町が未作成である。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって広く周知し、災害が起こった時に被害を減らすことができるよう平成28年度以降についても引き続き、作成を促進していきます。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域防災計画の修正									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

災害から市民の尊い生命と貴重な財産を守るために、災害に備えて何を準備しておくのか、災害が起こったときにどのように行動するのか、などといったことをあらかじめ計画しているが、その計画がその時々々の災害の状況などに応じたものになるように、毎年起こる災害の教訓や、日々見直されている防災に関係した法律の改正などを踏まえて計画の修正（見直し）を行う。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（1冊）	366,659円
平成24年度	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	539,280円
平成25年度	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	366,879円
平成26年度	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	564,258円
平成27年度	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	全5冊に分けられた亀岡市地域防災計画の内の見直し冊数（2冊）	431,783円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの延べ見直し冊数（10冊）に対して、9冊見直したので、達成率90%としました。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年起こる災害の教訓や、日々見直されている防災に関係した法律の改正などを踏まえ、その時々  
の災害の状況などに応じたものになるように計画の修正（見直し）を行うことができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域防災計画については全5編あるため、見直しされる法律の改正等、即時に反映できない。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後においても、その時々  
の災害の状況などに応じたものになるように、毎年計画の修正（見直し）を行う。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		塚本	直通	25-5029	内線	2714

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ふれあいネットワーク制度									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

ふれあいネットワーク制度は地域福祉の視点から災害の発生時において障害者やひとり暮らし高齢者などの要配慮者を地域の協力体制の中で、速やかに救出・救護することを目的としています。

要配慮者で、登録を希望される方については要配慮者名簿に登録し、民生委員・児童委員、自治会、防災関係機関でその名簿を共有し、災害時における要配慮者への地域協力体制づくりを図っています。

また、災害が発生したときに学校体育館や公民館等の避難所での生活が困難な高齢者・障害者等の特別な配慮を要する人を受け入れるために福祉避難所の指定を進めます。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・対象者に対し、制度周知により登録を進めていく。 ・福祉避難所の指定を検討する。	・対象者に対し制度周知により登録を進めた。(H23新規登録者556人、合計7,163人) ・福祉避難所の指定について検討を行った。	427,366
平成24年度	・対象者に対し、制度周知により登録を進めていく。 ・福祉避難所の指定を検討する。	・対象者に対し制度周知により登録を進めた。(H24新規登録307人、合計7,131人) ・福祉避難所9施設と協定締結を行った。	575,689
平成25年度	・対象者に対し、制度周知により登録を進めていく。 ・福祉避難所の指定を検討する。	・対象者に対し制度周知により登録を進めた。(H25新規登録259人、合計7,117人)	145,018
平成26年度	・対象者に対し、制度周知により登録を進めていく。 ・福祉避難所の指定を検討する。	・対象者に対し制度周知により登録を進めた。(H26新規登録94人、合計7,208人)	0
平成27年度	・対象者に対し、制度周知により登録を進めていく。 ・福祉避難所の指定を検討する。	・避難行動要支援者名簿への移行のためデータの更新のみを実施した。(H27新規登録0人、合計6,605人)	0

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### (その根拠)

・対象者に対し、制度周知により登録を進め、福祉避難所9箇所の指定を行ったことにより、平成27年度末で100%とした。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

要配慮者で、登録を希望される方については要配慮者名簿に登録し、民生委員・児童委員、自治会、防災関係機関でその名簿を共有し、災害時における要配慮者への地域協力体制を図ることができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

災害が発生したときに学校体育館や公民館等の避難所での生活が困難な高齢者・障害者等の特別な配慮を要する人を受け入れるために福祉避難所の指定を進める必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

特別な配慮を要する人を受け入れるために現在9箇所指定している福祉避難所の指定箇所を増加させていく方向で検討を進める。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	デジタル移動通信システム等の整備・管理・運用									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

災害が発生したときにデジタル移動通信システム（防災行政無線）などが問題なく使用できるように、保守点検と操作方法を覚えるための通信訓練を行う。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	1,996,155円
平成24年度	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	2,836,155円
平成25年度	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	2,836,155円
平成26年度	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	2,917,188円
平成27年度	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	システムの保守点検回数（1回）と通信訓練の実施回数（1回）	2,917,188円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までのシステムの保守点検回数と通信訓練の実施回数の合計10回に対して10回実施したので、達成率100%としました。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

操作方法の確認や通信訓練を実施し、災害が発生したときにデジタル移動通信システム（防災行政無線）などが問題なく使用できるように努めた。また、災害時に使用できないことが無いようシステムの保守点検を実施した。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

導入から年数が経過し、バッテリーなどの消耗品の交換や予期せぬ故障が予想される。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も災害が発生時にデジタル移動通信システム（防災行政無線）が問題なく使用できるよう常日頃から、点検や操作方法の確認に努めます。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	避難所の追加指定・機能強化									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

非常食など災害時の備蓄品を配備して避難所の機能を充実させる他、必要に応じて避難所の追加指定を行います。
---

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	非常食の配備数（カンパン：23箇所）	非常食の配備数（カンパン：23箇所）	804,384円
平成24年度	災害用資機材配備数（災害用トイレ：21箇所）	災害用資機材配備数（災害用トイレ：23基）	804,825円
平成25年度	災害用資機材配備数（災害用トイレ：21箇所）	避難所の見直しに伴う追加指定等の実施 非常食（缶入りパン他）資機材配備（土のう袋：23箇所）	1,470,487円
平成26年度	災害用資機材配備数（災害用トイレ：23箇所）	7箇所の避難所へ乾パンや飲料水、毛布、救助資機材等を分散配置 （災害用簡易トイレ：25基）	2,037,780円
平成27年度	災害用資機材配備数（災害用トイレ：30箇所）	避難所の見直しを実施 非常食の配備数（カンパン：23箇所） 災害用資機材配備数（災害用トイレ：47基）	6,298,407円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの5年間に災害用簡易トイレを95基・非常食の配備を23箇所の増強配備を完了したので、達成率100%としました。
---

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

必要に応じて避難所の指定を行い、また、災害用トイレや非常食を配備し避難所の機能を充実させることができました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

期限間近の非常食等については各自主防災会実施の訓練等に使用し、更新を行っており、計画的に配備を行っている。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も必要に応じて避難所の見直しを行い、また、災害用トイレや非常食を配備し避難所の機能を充実するよう努めます。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	消防団員確保推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

消防団員の確保を推進することで、消防力の強化を図る。
----------------------------

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	消防団員定数900名の確保	消防団員実員891名	0円
平成24年度	消防団員定数900名の確保	消防団員実員895名	0円
平成25年度	消防団員定数900名の確保	消防団員実員894名	0円
平成26年度	消防団員定数900名の確保	消防団員実員893名	0円
平成27年度	消防団員定数900名の確保	消防団員実員899名	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

各年度ともに、条例定数900名を目標としていることから、5箇年分実績÷5箇年分目標（900名×5年）＝99.4≒99%の達成率とします。
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

団員の確保に向けて、各分団及び自治会等の関係機関の協力により、当初目標である団員定数900名にほぼ達することができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

団員の高齢化が著しく、若年層の団員確保が課題である。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、条例定数900名を目標とするとともに、定数確保に向けて、広報及び介入に努めることとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
「目指す目標」に該当する事業									番号	
②事業名	消防団活動強化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

各種訓練及び研修、並びに、消防資機材の増強及び更新することにより、消防団活動の強化を図る。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	新入団・幹部訓練（200名） 水防訓練（200名） 夏期訓練（450名） 消防団幹部視察研修（23名）	訓練参加人数 新入団・幹部訓練（226名） 水防訓練（271名） 夏期訓練（450名） 消防団幹部視察研修（21名）	1,216,200円
平成24年度	新入団・幹部訓練（200名） 水防訓練（200名） 夏期訓練（450名） 消防操法大会（540名） 小型動力ポンプ積載車更新（2台） 小型動力ポンプ更新（4台）	各種訓練及び研修、並びに、消防資機材の増強及び更新することにより、消防団活動の強化を図る。	5,179,350円
平成25年度	新入団・幹部訓練（200名） 水防訓練（200名） 夏期訓練（450名） 消防団幹部視察研修（23名） 小型動力ポンプ更新（3台） ポンプ格納庫改築（曾我部町重利、篠町野条）	訓練参加人数 新入団・幹部訓練（205名） 水防訓練（195名） 夏期訓練（472名） 消防団幹部視察研修（22名） 消防資機材更新 小型動力ポンプ更新（3台） ポンプ格納庫改築（曾我部町重利、篠町野条）	30,446,320円
平成26年度	新入団・幹部訓練（200名） 水防訓練（200名） 夏期訓練（450名） 消防操法大会（540名） 小型動力ポンプ積載車更新（4台） 小型動力ポンプ更新（4台）	訓練参加人数 新入団・幹部訓練（193名） 水防訓練（183名） 夏期訓練（460名） 消防操法大会（561名） 小型動力ポンプ積載車更新（4台） 小型動力ポンプ更新（4台）	10,883,720円
平成27年度	新入団・幹部訓練（200名） 水防訓練（200名） 夏期訓練（450名） 小型動力ポンプ積載車更新（3台） 小型動力ポンプ更新（4台）	新入団・幹部訓練（189名） 水防訓練（180名） 夏期訓練（479名） 小型動力ポンプ積載車更新（3台） 小型動力ポンプ更新（4台）	10,219,160円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

当初目標のとおり、各種訓練を実施するとともに、計画的に消防資機材の増強及び更新していることから、100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各種訓練を実施することで、災害対応能力の強化を図ることができました。  
消防車両及び消防資機材の更新を行うことで、装備品の充実、強化を図ることができました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

各種訓練を実施するにあたり、人員を確保するための協力体制作りが必要である。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、各種訓練を実施することで災害対応能力の強化に努めるとともに、計画的に資機材等の更新を行い、資機材の充実、強化を図ることとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	2
「目指す目標」に該当する事業									番号	
②事業名	消防団活動強化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

消防団員の確保を推進することで、消防力の強化を図る。
----------------------------

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	消防団員の雇用主等への協力依頼	希望団員数 39名 依頼文送付 39名	0円
平成24年度	消防団員の雇用主等への協力依頼	希望団員数 32名 依頼文送付 31名	0円
平成25年度	消防団員の雇用主等への協力依頼	希望団員数 52名 依頼文送付 53名	0円
平成26年度	消防団員の雇用主等への協力依頼	希望団員数 47名 依頼文送付 46名	0円
平成27年度	消防団員の雇用主等への協力依頼	希望団員数 36名 依頼文送付 36名	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

消防団員からの要望をとりまとめ、消防団活動に対する理解と協力を得るための依頼文を送付していることから、100%の達成率とします。
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

希望があった団員については、雇用主に対し協力依頼を行っており、一定の理解を得ていることから、100%の達成率とします。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

団員のサラリーマン化が進んでいることから、雇用主に対し更なる理解と協力を求める必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

要望があった場合は引き続き雇用主に対し、協力の依頼をします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	消防団支援体制検討事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

消防団本部三役を含め、消防活動の支援組織づくりについて検討会を実施する予定である。
---

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	市内全町に組織されている自主防災会との連携を図る。	団本部三役で検討中	0円
平成24年度	市内全町に組織されている自主防災会との連携を図る。	団本部三役で検討中	0円
平成25年度	市内全町に組織されている自主防災会との連携を図る。	自主防災会と連携して初期消火訓練等を実施。総合防災訓練においても、自主防災会と連携を図る。	0円
平成26年度	市内全町に組織されている自主防災会との連携を図る。	各分団と自主防災会との連携による初期消火訓練等を各地域において実施。	0円
平成27年度	市内全町に組織されている自主防災会との連携を図る。	各分団と自主防災会との連携による初期消火訓練等を各地域において実施。	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

消防団と自主防災会が連携し、初期消火訓練等を継続して実施していることから、100%の達成率とします。
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域で開催される初期消火訓練等に積極的に参加し、自主防災会と協力しながら住民指導に取り組んでいる。  
また、消防団が主催する訓練では、自主防と連携を図った訓練を実施した。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

消防訓練を通じて、自主防災会との連携は図れているが、自主防災会組織の高齢化が進んでいることから、活動面において、安全管理面での対策が必要となります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、自主防災会と連携を図ることで災害対応の強化が図れることから、引き続き事業を展開することとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	常備消防力強化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

地域の状況に応じて、消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望	増員及び消防署所新設等なし。 消防車1台更新、化学車1台更新等	0円
平成24年度	消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望	増員及び消防署所新設等なし。 消防指令台更新、流水救助器具一式増強、空気呼吸器3体更新、エアータンク1張増強	0円
平成25年度	消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望	増員及び消防署所新設等なし。 救急車1台及び救急資機材一式更新、空気呼吸器4体更新	0円
平成26年度	消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望	空気呼吸器9体増強・更新、消防ホース、救助用資機材更新	0円
平成27年度	消防職員の増員、消防車両や消防資機材等の充実及び消防署所新設等の整備について要望	防火広報車1台、救急資機材一式更新、耐刃防護衣配備、火災原因調査用資機材更新	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

継続して消防資機材等の増強、更新により常備消防力の強化が図られています。  
 なお、職員の増員、署所の新設要望については、計画的に進められることから100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

計画的に消防資機材の増強、更新が図られている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後、団塊世代の職員が定年退職を迎えることから、人員確保を計画的に進めていく必要がある。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、消防資機材の整備を図り、災害対応に万全を期するため、引き続き事業を展開することとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	市民救急活動強化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

普通救命講習の受講者募集について、広報紙に掲載し、普及啓発を図る。
-----------------------------------

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	一般救急講習会の実施 普通救命講習会の実施	一般救急講習会18回、受講者 564名 普通救命講習会53回、受講者 940名	0円
平成24年度	一般救急講習会の実施 普通救命講習会の実施	一般救急講習会34回、受講者 399名 普通救命講習会73回、受講者 1,239名	0円
平成25年度	一般救急講習会の実施 普通救命講習会の実施	一般救急講習会36回、受講者 682名 普通救命講習会52回、受講者 868名	0円
平成26年度	一般救急講習会の実施 普通救命講習会の実施	一般救急講習会52回、受講者 1,553名 普通救命講習会66回、受講者 1,251名	0円
平成27年度	一般救急講習会の実施 普通救命講習会の実施	一般救急講習会39回、受講者 1,132名 普通救命講習会62回、受講者 1,035名	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

<p>普通救命講習受講者目標数は、国の指標に基づき、人口の2割としています。</p> <p>平成27年度までの京都中部広域消防組合管内における普通救命講習受講者数35,702人÷管内人口138,521人（平成27年度末合計）≒0.26であり、同指標を達成していることから、100%の達成率とします。</p> <p>※家庭内で不慮の事故が発生した場合の対応として、一家族（5人）に受講者が一人いることで2割を満たせる考えです。</p>
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

自治会及び各事業所において、救命率の向上に向けて普通救命講習を受講されていることから、一定の成果は得られている。

また、平成27年度、亀岡市消防団においてAED20台が更新され、各自治会に配備されており、救急資機材の充実に努めている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

公共機関をはじめとし、民間事業所においてもAEDの配備が進められ、資機材の充実が図られているところです。あわせて、普通救命講習を通じて、いざという時にAEDを使える市民（町民）救急員の育成に向けて、効果的な広報活動が必要となります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、普通救命講習等を実施し、市民（町民）救急員の育成及び救命率の向上に努めるため、引き続き事業を展開することとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	消防係
担当者		關本泰生	直通	22-0119	内線	

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	3	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	救急医療体制整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

救急患者受入時間の短縮を図るため、救急医療体制の充実を関係機関に要請する。
---------------------------------------

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	救急患者受入時間短縮及び救急医療体制の充実	豊岡病院ドクターヘリ運用	0円
平成24年度	救急患者受入時間短縮及び救急医療体制の充実	大阪大学附属病院ドクターヘリ運用	0円
平成25年度	救急患者受入時間短縮及び救急医療体制の充実	高機能消防指令システムの運用開始により、現場到着時間の短縮を図る。	0円
平成26年度	救急患者受入時間短縮及び救急医療体制の充実	京都府救急医療情報システムの整備	0円
平成27年度	救急患者受入時間短縮及び救急医療体制の充実	滋賀済生会病院ドクターヘリの運用 京都府救急医療情報システムの運用開始	0円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

京都府救急医療情報システムの整備により、救急医療体制の充実が図られているため、100%の達成率とします。
--

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

医療情報の整備が図られるとともに、ドクターヘリ（3機）が運用されることから、当初の目標は達成されている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

救命率の向上及び予後の改善等の観点から、救急搬送における病院選定から医療機関における救急医療の提供までの一連の行為を円滑に実施することが、今後の課題となります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

救命率の向上及び上記課題の改善に向けて受け入れ態勢を充実させ、更なる救急医療体制の充実に向けて、関係機関が協力し合って、消防機関と医療機関の連携体制を強化する。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		熊澤 亮子	直通	25-6788	内線	2333

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	交通安全の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

競技を通じて児童に交通知識の習得と交通安全の実践行動の習慣化を図るため、交通安全子ども自転車亀岡市大会を実施しています。事業としては、大会前に各小学校において自転車指導教室を開催し、大会当日には、市内18小学校の選手（4人編成1チーム）が参加して学科テスト及び実技テスト（安全走行・技能走行）に日頃の成果を競い合います。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	128,567円
平成24年度	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	137,053円
平成25年度	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	114,054円
平成26年度	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	115,328円
平成27年度	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	交通安全子ども自転車亀岡市大会の実施 参加校18校 参加選手72名	139,708円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

交通安全子ども自転車亀岡市大会は、平成3年度から開始され、平成22年度に第20回大会を開催することができました。この間、市内全18小学校で自転車競技を通じて、交通知識の取得と交通安全の実践行動の習慣化に積極的に取り組んでいただいております。市内小学校が府大会、全国大会で好成績を上げるなど一定の成果を挙げています。目標に対する進捗状況については、平成27年度まで継続事業のうち27年度分が終了したことから、100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

交通安全子ども自転車亀岡市大会では、市内全18小学校で自転車競技を通じて、交通知識の取得と交通安全の実践行動の習慣化に積極的に取り組んでいただいております、市内小学校が府大会、全国大会で好成績を上げるなど一定の成果を挙げています。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

自転車大会を通じて学んだ児童の交通知識の日常生活への実践・定着化を図る。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、市内全18小学校にて、競技を通じて児童に交通知識の習得と交通安全の実践行動の習慣化を図る機会の提供を行うとともに、交通安全への関心を高めるため、さらに取組を強化していくこととします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		熊澤 亮子	直通	25-6788	内線	2333

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	8
②事業名	交通安全運動の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

交通事故のない安全安心のまちづくりを目指すため、各種団体、関係機関の参画による亀岡市交通安全対策協議会を設置し、市民ぐるみで交通安全運動を実施しています。特に、年4回の交通安全運動期間には、街頭啓発活動を毎回2回実施し、信号待ちのドライバーや駅を利用する通勤・通学者に対して啓発チラシや啓発物品を配布して交通安全意識の普及及び高揚に努めています。また、春の運動期間には、交通安全の推進等にご尽力をいただいた方を功労者として表彰しています。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成23年 650人	交通安全街頭啓発活動 14回 交通安全功労者表彰 5個人 1団体 交通事故死傷者数 663人	316,000円
平成24年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成24年 610人	交通安全街頭啓発活動 17回 交通安全功労者表彰 10個人 2団体 交通事故死傷者数 621人	326,000円
平成25年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成25年 570人	交通安全街頭啓発活動 14回 交通安全功労者表彰 7個人 1団体 交通事故死傷者数 579人	340,000円
平成26年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成26年 530人	交通安全街頭啓発活動 11回 交通安全功労者表彰 3個人 2団体 交通事故死傷者数 421人	332,251円
平成27年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成27年 490人	交通安全街頭啓発活動 13回 交通安全功労者表彰 2個人 1団体 交通事故死傷者数 369人	1,519,684円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

年4回の交通安全運動期間の啓発活動や市内の高校生を対象とした自転車安全利用指導において交通安全を呼びかけました。また、27年度には、運転に不安のある高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促し、自主返納した高齢者を支援する取り組みを開始しました。進捗状況については、交通事故死傷者数が着実に減少しており、平成27年度まで継続事業のうち27年度分が終了したことから、100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

年4回の交通安全運動期間の啓発活動や市内の高校生を対象とした自転車安全利用指導において交通安全を呼びかけました。また、交通事故全体に占める高齢者事故の割合が高いことから、運転に不安のある高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促し、自主返納した高齢者を支援することで、未然に交通事故を防止する取り組みを開始しました。交通事故死傷者数については、着実に減少しています。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

- 交通事故死者数の更なる減少に取り組む。
- 高齢者の交通事故の減少に取り組む。
- 自転車のマナーの向上に取り組む。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、交通事故のない安全安心のまちづくりの推進に取り組めます。啓発活動等の実施により、市民の方の交通安全への関心を高めるとともに、交通事故の減少に向けて、さらに取組を強化していくこととします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	道路維持係
担当者		南 勝章	直通	25-5044	内線	3374

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	交通安全施設整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

安全・安心な道づくりのため道路反射鏡や防護柵の設置により通行の安全確保と交通事故の抑制を推進する

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	道路反射鏡の設置 防護柵の設置	道路反射鏡設置 26基 防護柵設置 238m 道路反射鏡補修 26基	16,571,000円
平成24年度	道路反射鏡の設置 防護柵の設置	緊急通路整備工事 12件 区画線 22,802m標識 74箇所 防護柵1,032m 道路反 射鏡 6ヶ所 カラー舗装 4,362㎡ 道路照明灯22基 側溝等改良 436m 交通安全施設工事 区画線 9,830m 防護柵 37m 道路反射鏡 30箇所 カ ラー舗装 19㎡	115,103,000円
平成25年度	道路反射鏡の設置 防護柵の設置	道路反射鏡設置 17基 防護柵設置 527m 区画線 4,733m 道路照明 1基	15,866,000円
平成26年度	道路反射鏡の設置 防護柵の設置	道路反射鏡設置 8基 道路反射鏡補修 23基 防護柵設置 358m 区画線 2,399m カラー舗装 77㎡	14,692,320円
平成27年度	道路反射鏡の設置 防護柵の設置	道路反射鏡設置 30基 道路反射鏡補修 4基 防護柵設置 170m 区画線 4,430m カラー舗装 433㎡	18,409,680円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標を100%としているため、平成27年度までの完了は100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

交通安全に関して毎年ごとの実施により当初の目標通りの整備を行うことができた。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

新規事業のほか設置してから年数を経た交通安全施設の更新が必要な状況となってきた。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

新規事業についてはその必要性を見極めたうえで判断するものとし、経年劣化した施設の点検等を行い、計画的に更新を図っていくものとする。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		上西 隼太	直通	25-6788	内線	2332

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	9
②事業名	防犯・暴迫啓発活動									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

安全で安心して暮らせるまちづくりのため、防犯対策をセーフコミュニティの重点課題と位置づけ、セーフコミュニティ防犯対策委員会対策を進めると同時に、現在活動されている防犯団体を核としてその活動を支援しています。

支援内容は、補助金の交付及び京都府と連携し情報提供を行っています。

さらに、街頭犯罪認知件数が減少傾向にある中でも、青少年が関わる自転車盗被害が急激に増加していることから、防犯パトロールなどの人的対策の補完措置として、犯罪の未然防止に有効な防犯カメラを設置します。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>街頭犯罪認知件数の減少（H22年度実績530件を基準とする）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体支援</li> <li>防犯カメラ設置検討</li> <li>街頭犯罪認知件数528件（△2件）</li> </ul>	396,185円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ取扱要綱制定</li> <li>防犯カメラ5台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数510件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ取扱要綱制定</li> <li>防犯カメラ5台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数390件（△140件）</li> </ul>	2,652,410円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ1台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数380件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ1台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数432件（△98件）</li> </ul>	1,073,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ2台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数375件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>防犯カメラ2台設置</li> <li>街頭犯罪認知件数307件（△223件）</li> </ul>	1,455,500円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>街頭犯罪認知件数370件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯団体活動支援</li> <li>市防犯カメラ2台、自治会によるカメラ設置14台（うち、補助対象5台）</li> <li>街頭犯罪認知件数253件（△277件）</li> </ul>	1,661,291円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### （その根拠）

平成26年度は、セーフコミュニティ防犯対策委員会を中心に新たに防犯カメラの設置をするなど体感治安の向上に向けた取組を行いました。

目標に対する進捗状況については、平成27年度までに街頭犯罪認知件数を3割減らすことを目指すとした当初目標を達成したことから100%とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

街頭犯罪認知件数は着実に減少しており、当初目標の平成22年度比（530件）3割減の目標（→370件）を達成し一定の事業の成果があったといえます。その要因としては、防犯カメラの設置について、市設置の他、自治会が設置する防犯カメラの補助事業を創設したことで設置基数の増加を図ることができたこと、さらには関係機関と連携した啓発活動の実施や協定の締結などが挙げられます。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度には京都縦貫自動車道の全線開通するなど「犯罪の広域化」への対応が必要となると考えられます。具体的には、防犯カメラの設置箇所の検討（JR駅前→京都縦貫道IC付近など）や防犯対策に関わる関係機関や市民等のさらなる意識向上に向けた取り組みを進めていく必要があると考えています。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても防犯団体の活動を支援しながら、亀岡警察署との連携を強化し防犯関係機関のネットワークの拡大や地元自治会等との協調のもと防犯カメラの増設を進め、街頭犯罪認知件数の減少をていくこととします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	土木管理課	係	管理係
担当者		足立 慎吾	直通	25-5043	内線	3433

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公衆街路灯整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

犯罪のない安全で安心できるまちづくりのため、自治会等の要望に基づき、危険度、緊急度の高い公衆街路灯の設置を推進するとともに、自治会管理街路灯の負担に対する効果的な助成を推進する。また、平成27年度から、老朽化した自治会管理の防犯灯についてLED化したものについて工事費を助成することにより、消費電力を抑制することにより維持管理費の軽減を図る。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	公衆街路灯設置の推進	公衆街路灯設置 85灯 公衆街路灯助成 8,280灯	16,762,983円
平成24年度	公衆街路灯設置の推進	公衆街路灯設置 37灯 公衆街路灯助成 8,290灯	17,181,282円
平成25年度	公衆街路灯設置の推進	公衆街路灯設置 59灯 公衆街路灯助成 8,557灯	22,737,000円
平成26年度	公衆街路灯設置の推進	公衆街路灯設置 33灯 公衆街路灯助成 8,715灯	18,106,770円
平成27年度	公衆街路灯設置の推進	公衆街路灯設置 33灯 公衆街路灯助成 8,888灯 灯具交換助成 1,123灯	33,700,636円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標を100%として設定しているため、平成27年度までの完了は100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

安全安心のまちづくりのため、公衆街路灯設置の推進、また自治会管理街路灯の負担に対する効果的な助成が図られ、一定の成果が表れている。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

公衆街路灯設置等の要望は後を絶たず、依然地元要望がなされている状況である。安全安心のまちづくりのため、より一層の助成が必要であるが、各々の現地確認の上、限りある予算の中で効率よく執行すべきである。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き安全安心のまちづくりのため、危険度、緊急度の高い公衆街路灯の設置、また地元負担軽減のため効率的な助成を推進する。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		岡田春樹	直通	25-5097	内線	2334

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	犯罪被害者等支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

市民の誰もが犯罪の被害に遭う可能性のある中、安全で安心して暮らすことのできる社会の実現は市民すべての願いです。しかし、犯罪被害者やその家族、遺族等は、十分な支援を受けられず、深刻な状況に置かれています。

こうした状況を市民一人ひとりがしっかりと認識し、犯罪被害者等が元の平穏な日常生活を早期に取り戻せるよう社会全体で支援していくため、「亀岡市犯罪被害者等支援条例」を制定し、行政、関係機関、市民などが協力、連携して犯罪被害者等を支援していきます。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市犯罪被害者等支援条例制定</li> <li>庁内連絡会議設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市犯罪被害者等支援条例制定</li> <li>庁内連絡会議設置</li> </ul>	0円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市犯罪被害者等支援条例施行</li> <li>相談窓口の設置</li> <li>犯罪被害者等支援の連携協力に係る協定書調印</li> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>亀岡市犯罪被害者等支援条例施行</li> <li>相談窓口の設置</li> <li>犯罪被害者等支援の連携協力に係る協定書調印</li> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> </ul>	66,510円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> <li>犯罪被害者等支援制度啓発事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪被害者等見舞金の支給</li> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> </ul>	331,340円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> <li>犯罪被害者等支援制度啓発事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> <li>犯罪被害者等支援制度啓発事業の実施</li> </ul>	31,880円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府・亀岡警察署との連携により支援実施</li> </ul>	30,000円

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成27年度までに実施すべき11の取組は全て完了したことから、100%の達成率とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市犯罪被害者等支援条例を平成24年度から施行し、庁内の関係課を始めとして、関係機関が連携して被害者支援を行う体制を整えました。  
平成25年度には被害者遺族に対して同条例に基づき見舞金を支給しました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

犯罪被害者及びその遺族への支援は、関係機関が連携して支援するとともに、社会全体の理解のもとに行う必要があるため、職員を始めとして、市民へ広く啓発を行う必要があります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開し、市民及び職員への啓発を行うとともに、関係機関と連携して被害者の視点に立った支援を行うこととします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	消費生活センター	係	
担当者		前田 恵子	直通	0771-25-5005	内線	2552

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	消費生活啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

悪質商法による被害の相談、事業者との交渉・斡旋・苦情処理の対応など相談業務の充実を図るため、平成23年3月に「亀岡市消費生活センター」を設置し、消費生活相談を行っています。また、消費者大学や親子消費者教室、消費生活出張講座を開催することにより、市民が常に安全で安心した生活がおくれるよう消費生活に関する意識や知識を持っていただける機会を提供するなどの啓発活動を行っています。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	講座等参加者数…300人 消費生活展見学者…1,000人 冊子作成	講座等参加延べ人数…487人 消費生活展見学者…1,377人 冊子作成・全戸配布	悪質商法撃退マニュアル (全戸配布) 2,772,000円 啓発冊子等 255,700円
平成24年度	講座等参加者数…300人 消費生活展見学者…1,100人 冊子作成	講座等参加延べ人数…642人 消費生活展見学者…1,819人 冊子作成	啓発冊子等 56,700円
平成25年度	講座等参加者数…400人 消費生活展見学者…1,200人 冊子作成	講座等参加延べ人数…1,040人 消費生活展見学者…2,081人 冊子・ファイル等作成	啓発冊子・ファイル等作成 705,075円
平成26年度	講座等参加者数…450人 消費生活展見学者…1,300人 冊子作成	講座等参加延べ人数…487人 消費生活展見学者…1,993人 冊子等作成	啓発冊子等 940,356円 (内府補助金 453,978円)
平成27年度	講座等参加者数…500人 消費生活展見学者…1,400人 冊子作成	講座等参加延べ人数…588人 消費生活展見学者…1,796人 冊子等作成	啓発冊子等 558,360円 (内府補助金 262,980円)

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### (その根拠)

消費生活に関する啓発を継続して行う事業であり、参加人数等が目標を上回っているため、目標5年間に對して、5年経過時の進捗度を100%とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者数については、目標に対して実績が100%となり、多くの市民に消費生活の各諸問題について啓発・教育の充実が図れました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

消費生活学習出張講座・亀岡消費者大学・おやこ消費者教室・消費生活展等を開催しましたが、若年層の参加が少なかった点が課題となっています。「亀岡消費者大学」の開催において、参加呼びかけなどの周知方法など、幅広い年齢層に関心を持ってもらえる情報が発信できるよう工夫する必要があります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、市民が安全で安心した生活がおくれるよう、消費生活に関する知識をもっといただき、消費者被害にあわないよう、最新情報を提供できる機会を設け、より充実した啓発活動を実施します。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	消費生活センター	係	
担当者		前田 恵子	直通	0771-25-5005	内線	2552

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	消費生活相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

ますます巧妙化する悪質商法や架空請求詐欺等の特殊詐欺に対し、被害者の救済及び被害防止のため、平成23年3月に「亀岡市消費生活センター」を設置し、消費生活専門相談員による苦情・相談処理や事業者との斡旋等消費生活相談を実施しています。また、相談内容及び重大な事故情報は、PIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)を通じて国へ報告し、消費者被害防止に努めています。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	被害件数・・・70件	被害件数・・・62件 PIO-NETによる国への報告件数 ・・・212件	(消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,494,000円)
平成24年度	被害件数・・・70件	被害件数・・・29件 PIO-NETによる国への報告件数 ・・・203件	(消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,672,000円)
平成25年度	被害件数・・・68件	被害件数・・・39件 PIO-NETによる国への報告件数 ・・・228件	(消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,641,000円)
平成26年度	被害件数・・・66件	被害件数・・・84件 PIO-NETによる国への報告件数 ・・・265件	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,484,000円 (内府補助金 1,908,000円)
平成27年度	被害件数・・・64件	被害件数・・・34件 PIO-NETによる国への報告件数 ・・・226件	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,505,600円 (内府補助金 1,929,600円)

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

#### (その根拠)

消費者被害を防止するための事業であり、実際の被害件数累計が想定した件数を下回っているため、目標5年間に対して、目標以上の被害件数の減少となりました。  
 想定件数・平成23年度70件+平成24年度70件+平成25年度68件+平成26年度66件+平成27年度64件=338件  
 被害件数・平成23年度62件+平成24年度29件+平成25年度39件+平成26年度84件+平成27年度34件=248件

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標被害件数については、目標に対して被害件数が、当初目的に掲げていた件数を大幅に減らすことができました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

悪質商法や特殊詐欺に対し、被害者の救済及び被害を未然に防ぐため、消費生活センターにおいて、情報発信し、市民の安全・安心した消費生活の確保に努めます。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降も引き続き事業を展開し、悪質商法や特殊詐欺に係る相談を行うとともに相談業務の充実を図り、被害者防止に努めることとします。

# 様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	消費生活センター	係	
担当者		前田 恵子	直通	0771-25-5005	内線	2552

## ■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	10
②事業名	消費生活相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

### ④事業の概要及び目的

悪質商法や特殊詐欺の相談、製品に係る相談、事業者との交渉・斡旋・苦情処理の対応や指導など相談業務の充実を図るため、平成23年3月に「亀岡市消費生活センター」を設置し、消費生活専門相談員による苦情・相談処理や事業者との斡旋等消費生活相談を実施しています。消費者庁をはじめとする国の機関や京都府と連携し、相談業務の充実に努めています。

### ⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週3回以上	消費生活相談の開催回数 ・・・週5回 (相談件数・・・211件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,494,000円
平成24年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 ・・・週5回 (相談件数・・・203件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,672,000円
平成25年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 ・・・週5回 (相談件数・・・228件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,641,000円
平成26年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 ・・・週5回 (相談件数・・・265件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,484,000円 (内府補助金 1,908,000)
平成27年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 ・・・週5回 (相談件数・・・226件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,505,600円 (内府補助金 1,929,600円)

### ⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

消費生活相談を開催していく事業であるため、年度ごとに目標回数以上実施した場合には、計画期間中（平成23年度～27年度）に1年が経過するごとに20%とし、進捗度100%とします。

## ■B 前期基本計画期間の総括欄■

### ①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標開催回数については、目標に対して実績が100%となり、当初目的に掲げていた開催回数を増やすことができました。

### ②前期基本計画期間の当該事業の課題について

相談回数については、回数を増やすことができましたが、相談窓口のPR方法を工夫する必要があります。

### ③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、悪質商法や特殊詐欺に係る相談を行うとともに相談業務の充実を図るため、消費生活センター窓口のPR活動を強化していくこととします。